

# 被災地 子育てママ応援

## 大船渡・陸前高田 ボランティア団体

### 孤立防止へ催し、巡回

大船渡、陸前高田両市で活動する子育てボランティア「こそだてシップ」(伊藤怜子代表)は、被災地で子育てする母親たちの支援活動に取り組んでいる。18日はクリスマス会を開催するなど、仮設住宅で暮らす母親らの負担軽減のため毎月イベントや巡回活動を展開。地域コミュニティの変化や震災で生活環境が変わって悩みを抱える母親にとって、貴重な「つながり」の場となっている。



楽しいクリスマス会に笑みがこぼれる母親と子どもたち。大船渡市盛町・カメラリアホール

### 情報交換「サロン」も

クリスマス会は大船渡市盛町のカメラリアホールで開かれ、約60組の親子が参加。サンタクロースに扮したボランティアが、お菓子やぬいぐるみなど一足早いプレゼントを手渡した。

同団体は昨年10月から大船渡、陸前高田両市で月1回ずつサロンを開催。子育て相談に応じたり、お茶飲み、ハンドマッサージなど母子ともにリラックスできる環境整備に努めてきた。

サロンに参加できない母親をサポートする

ため、今年5月から両市の仮設住宅約90カ所を巡回。9月からはサロンを月2回ずつに増やすなど支援充実を図っている。

長男高雅ちゃん(5カ月)とクリスマス会に参加した富田節子さん(34)は「大船渡市赤崎町は「子育て中は外出する範囲が限られる。子どもと一緒にリラックスしたり、情報交換できる場所があるのはうれしい」と感謝する。

4年ほど前から大船渡市で子育て支援に当たる助産師の伊藤代表は「子育て環境の変化と震災が重なり、母親が悩みを抱えやすい状況が進んでいる」と指摘。2011年度の市の調査によると、市内の0〜3歳児の約1割に当たる1111人が仮設住宅やみなし仮設で暮らしている。大船渡

市内では同団体のほか、市や社会福祉協議会、子育てサークルなど約20団体が子育て支援の活動を展開。伊藤

### 秋篠宮ご夫妻きょう来県

沿岸など視察

秋篠宮ご夫妻は19日、来県される。20日にかけて陸前高田市や大船渡市、盛岡市などを訪れ、東日本大震災で被災した古文書などを修復する文化財レスキューの活動状況などを視察される。

19日は陸前高田市立博物館で文化財レスキューを視察される。盛岡市の県立博物館も視

### 「緊急避難」認め

### 二審は逆転無罪

### 脅され覚せい剤注射

覚せい剤取締法違反(使用)の罪に問われた無職男性(50)の控訴審判決で、東京高裁は18日、「暴力団幹部から頭に拳銃を突き付けら

れ注射を強要された」とする男性の供述の信用性を認めて「緊急避難が成立する」と判断、懲役2年8月の一審横浜地裁判決を破棄し、無罪を言い渡した。小西秀宣裁判長は「男性の供述は具体的に客観的状況とも符合

藤代表は「団体同士がつながりを持ち、母親を支える体制をつくる必要がある」と訴える。

20日は遠野市総合防災センターを訪れ、後方支援活動を続ける関係者と懇談される。盛岡市の県立博物館も視